飼料メーカー2社は増益

26年3月期連結決算

フィード・ワン

フィード・ワン㈱（庄司英洋社長―本社・横浜市）は5月8日、2026年3月期連結決算を発表した。原料価格動向を踏まえた価格改定や採算管理の徹底により畜産・水産飼料事業の収益性が改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも増益となった。売上高は前期比1・8％減の2906億7500万円、営業利益は27・6％増の80億9100万円、経常利益は26・9％増の86億1200万円、親会社株主に帰属する当期純利益は18・4％増の63億7700万円だった。1株当たり期末配当は前期比3円50銭増配の24円50銭（年間配当は10円増配の45円50銭）とした。

主力の畜産飼料事業は、販売数量や平均販売価格が前年同期を下回ったことで減収となった一方、原料価格動向を踏まえた価格改定の実施や採算管理の徹底により収益性が改善した。セグメント売上高は前期比3・7％減の2237億4400万円、セグメント利益は20・0％増の102億4300万円となった。

水産飼料事業は、水産飼料の販売数量や平均販売価格の低下で減収となったものの、採算管理の徹底や原料価格低下で収益性が改善。セグメント売上高は前期比3・0％減の248億6300万円、セグメント利益は22・6％増の14億2600万円だった。

食品事業は、鶏卵相場の高騰を背景に鶏卵部門が増収となった一方、仕入れコスト上昇や、マジックパール新工場稼働に伴う減価償却費増加などで減益となった。セグメント売上高は前期比10・3％増の420億5300万円、セグメント利益は42・4％減の1億6300万円だった。

27年3月期の連結業績予想は、売上高3170億円、営業利益85億円、経常利益88億円、親会社株主に帰属する当期純利益65億円を見込む。年間配当予想は6円50銭増配の52円とした。

中部飼料

中部飼料㈱（藤田京一社長―本社・名古屋市）は5月7日、2026年3月期連結決算を発表した。養鶏用・養豚用飼料の販売量増加や原料ポジション改善による利益率向上などを背景に、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも3期連続の増益となり、全利益項目で6期ぶりに過去最高を更新した。売上高は前期比0・9％増の2118億1400万円、営業利益は53・8％増の65億8400万円、経常利益は48・9％増の71億6800万円、親会社株主に帰属する当期純利益は58・5％増の55億5100万円だった。1株当たり期末配当は前期比8円増配の35円（年間配当は13円増配の65円）とした。

主力の飼料セグメントは、養鶏用・養豚用飼料の拡販で販売量が増加したほか、原料ポジション改善による利益率向上などが寄与し、売上高は前期比0・1％減の1911億8100万円、セグメント利益は63・9％増の64億8600万円となった。人件費や運賃、飼料価格安定基金負担金の増加はあったものの、水産飼料でも販売量増加や原料相場下落、配合設計見直し製品の投入などで収益性が改善した。

その他セグメントは、売上高が前期比11・9％増の206億3300万円、セグメント利益が同13・6％減の12億1400万円。鶏卵販売は主力の「ごまたまご」を中心に特殊卵の販売強化が奏功し、販売量が増加した。肥料事業も堆肥使用の有機入り配合肥料がけん引し増益となった。一方、畜産用機器は販売台数が増加したものの、利益率の低下で減益だった。

27年3月期の連結業績予想は、売上高2210億円、経常利益62億円、親会社株主に帰属する当期純利益69億円を見込む。横浜市の物流倉庫賃貸物件売却に伴う固定資産売却益31億円を特別利益として計上する予定。年間配当予想は11円増配の76円。

売上高初の300億円超

イフジ産業　液卵販売数量は過去最高

イフジ産業㈱（藤井宗徳社長―本社・福岡県粕屋町）は5月7日、2026年3月期連結決算を発表した。液卵販売数量の増加や鶏卵相場の高値推移を背景に、売上高は前期比27・4％増の325億7200万円となり、5期連続の増収で過去最高を更新。連結売上高として初めて300億円を超えた。

一方、積極的な設備投資に伴う減価償却費の増加などから、営業利益は6・9％減の27億9000万円、経常利益は6・3％減の28億5700万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4・7％減の20億3300万円となった。

1株当たり期末配当は前期比5円減配の35円（年間配当は1円増配の67円）とした。

主力の液卵事業では、25年10月以降に全国で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が多発した影響で鶏卵の供給不足が続き、鶏卵相場が高値で推移した。この中で、国内外での原料卵調達力と液卵供給力を強みに受注を拡大。他社からのOEM受注や外食・総菜向けの販売も増え、液卵販売数量は2・1％増の6万6660㌧と過去最高を更新した。

液卵事業の売上高は、液卵販売数量の増加や販売単価上昇などにより28・7％増の304億8200万円。うち液卵売上高は30・3％増の287億1700万円、加工品売上高は8・4％増の14億8000万円となった。

一方、利益面では、2030年度に液卵販売数量8万㌧、業界シェア20％を目指す成長戦略のもと、全工場で積極的な設備投資を進めたことから減価償却費が増加、人的資本投資の強化に伴う人件費増加もあり、液卵事業のセグメント利益は7・3％減の26億9500万円となった。

調味料事業は既存得意先向け販売の減少などで売上高が5・6％減の12億6700万円、セグメント利益が1・7％減の8900万円。オーガニックEC事業は冷凍フルーツ販売が好調で売上高が8億7700万円、セグメント利益が500万円となった。

27年3月期の連結業績予想は、売上高3333億7600万円、営業利益29億1300万円、経常利益28億8700万円、親会社株主に帰属する当期純利益20億2400万円を見込む。年間配当予想は2円増配の69円とした。

鶏卵高騰や販管費増加で減益

ケンコーマヨネーズ

ケンコーマヨネーズ㈱（島本国一社長―本社・東京都千代田区）は5月11日、2026年3月期連結決算を発表した。マヨネーズ・ドレッシング類やポテトサラダの販売が伸長し増収となった一方、鶏卵相場の高止まりによる原材料費増加や販管費増加、本社移転費用などによって減益となった。売上高は前期比0・7％増の923億5400万円、営業利益は14・3％減の41億5500万円、経常利益は13・4％減の43億2900万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16・4％減の29億2600万円だった。1株当たり期末配当は前期比20円増配の44円（年間配当は24円増配の67円）とした。

調味料・加工食品事業は、外食や量販店、コンビニエンスストア向けのポテトサラダが伸長したほか、製パン・外食向けのマヨネーズ・ドレッシング類やソース類も増加し、売上高は2・2％増の734億3400万円となった。利益面では価格改定効果があったものの

利益が大幅増加

日本ハム

国産鶏肉や豪州牛肉が好調

日本ハム㈱（前田文男社長―本社・大阪市）は5月8日、2026年3月期連結決算（国際財務報告基準）を発表した。

国産鶏肉や豪州牛肉の販売伸長、販売部門での価格転嫁に加え、「北海道ボールパークFビレッジ」の来場者増加などが寄与し、増収増益となった。売上高は前期比6・3％増の1兆4573億9100万円、事業利益は60・7％増の683億4200万円、税引き前当期利益は46・6％増の545億4500万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は31・9％増の350億6600万円だった。1株当たり期末配当は前期比25円増配の160円（年間配当も同じ）とした。

食肉事業本部は、国産鶏肉や豪州牛肉事業で販売環境の改善や販売数量増加が進み、販売部門での適切な価格転嫁も奏功。売上高は8・1％増の1兆341億3300万

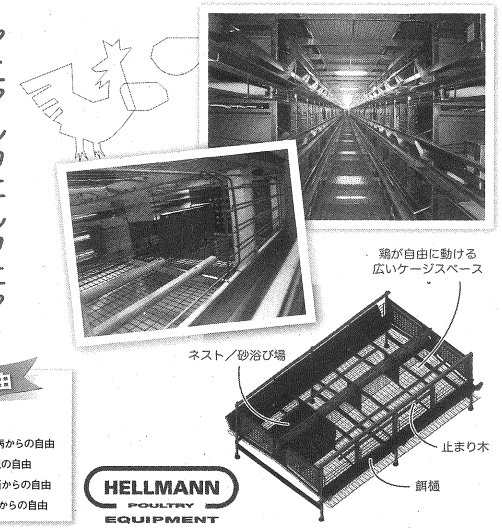
ホソヤのA・Wケージ

もう一つの提案

Enriched Cage

エンリッチド　ケージ

アニマルウェルフェアを考える生産者の皆様に向けての提案です。



5つの自由

- 不快からの自由
- 苦痛、損傷、疾病からの自由
- 正常な行動発現の自由
- 恐怖および苦悩からの自由
- 飢えおよび渇きからの自由

HELLMANN POULTRY EQUIPMENT

株式会社 ホソヤ
HOSOYA & Co., Ltd.
http://www.k-hosoya.co.jp
［本社］〒252-1115 神奈川県綾瀬市落合南 6-8-37 tel：0467-78-1881 fax：0467-76-1887 E-mail：hosoya@k-hosoya.co.jp
［養鶏研究所］〒437-1501 静岡県菊川市丹野 590-2 tel：0537-73-3811 fax：0537-73-5504 E-mail：kaken@k-hosoya.co.jp
カタログ差し上げます。ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。
Enriched Cageのお問い合わせ・ご相談、カタログのご請求はこちらまでご連絡ください。
0467-81-3825

フランス・パスツール研究所で生まれた
画期的な環境対策資材です

乳酸発酵混合飼料「ピービオー」

◎ピービオーの特徴
飼料に添加することにより、腸内に正常腸内細菌叢ができ、動物本来の健康状態が維持されます。
また、農場内や畜舎内に散布することで、地元先住菌と共生的に増殖し、農場全体への定着が行われます。

◎ピービオーの効果
①嫌気的な腸内で安定した正常腸内細菌叢ができ、動物本来の健康状態を維持します。
②腸内で有機酸の産生を促進し、畜臭、排糞による悪臭が少なくなります。
③畜糞の発酵初期の悪臭発生が激減し、貯糞した場合には一次発酵が